

## 東海経済レポート（2013年9月）

～緩やかな回復傾向が続くが、新興国経済の低迷に輸出下押しリスク～

経済調査室（名古屋）

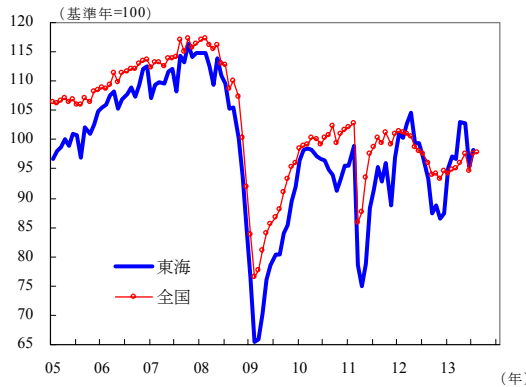
### 1. 足元の経済情勢

- ✓ 生産は、7月に前月比+3.1%と3ヶ月ぶりに増加。電気機械セクターが大幅増となり回復を牽引。
- ✓ 輸出（円ベース）は、8月に前月比+4.4%と3ヶ月ぶりに増加。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、7月は前年比▲6.4%と2ヶ月ぶりに減少。
- ✓ 雇用では、7月の愛知県の有効求人倍率が1.35倍と2008年10月以来の水準にまで上昇。他県でも同様に上昇。
- ✓ 個人消費では、7月の新車販売台数が前年比▲9.1%と、マイナス幅が1桁台に縮小。同月のスーパー・コンビニ等小売主要3業態の販売は前月比▲1.1%と、小幅ながら3ヶ月ぶりに減少。住宅着工は、7月も年率換算8万戸超のペースを維持し、好調に推移。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

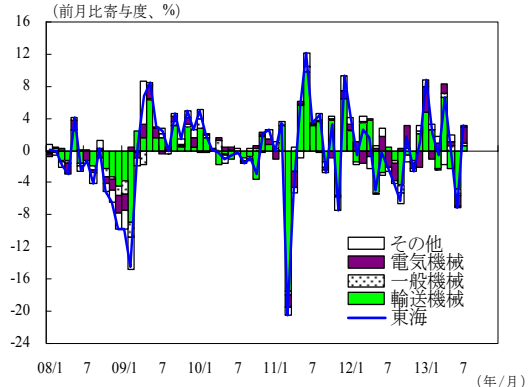
- ✓ 8月までは中国経済の減速に対する不安、米国量的緩和縮小観測を契機とする資本流出懸念、シリア情勢の泥沼化などから、世界経済の見通しには強い不透明感が漂っていた。
- ✓ しかしその後、中国経済に持ち直しの兆しが見られ始め、また、9月の米FOMCでは予想に反して量的緩和縮小が見送られたことなどから、世界的に株価が上昇。下落幅の大きかった新興国通貨も反発した。
- ✓ 東海経済にとっての当面の注目点は、①新興国経済の低迷長期化による輸出への悪影響、②本邦成長戦略および財政再建の具体的前進、の2点と考える。

**生産①** 7月の鉱工業生産指数は前月比+3.1%と、3ヶ月ぶりに増加。



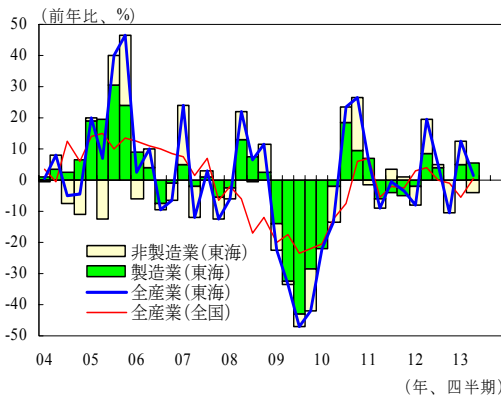
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 基準年は、全国は2010年、東海は2005年  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、電機機械の寄与が大きかった。



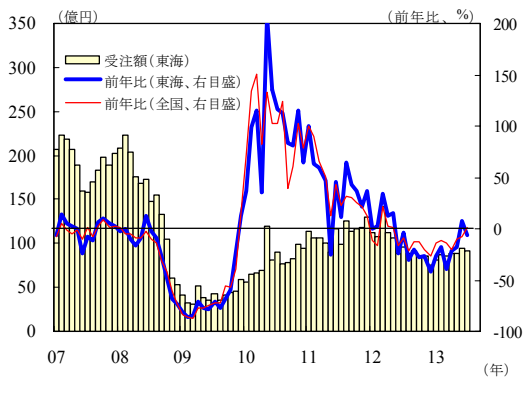
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電機機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 4-6月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+1.4%とプラス幅が縮小した。



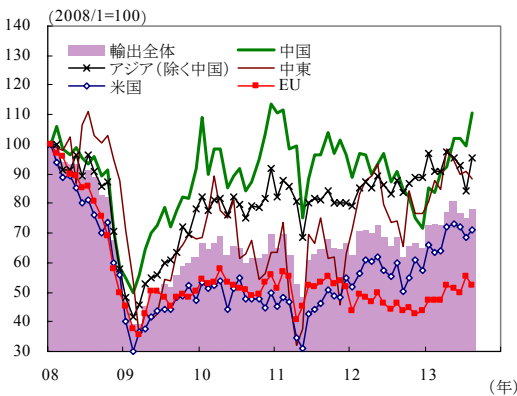
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、7月は前年比▲6.4%と2ヶ月ぶりに減少。



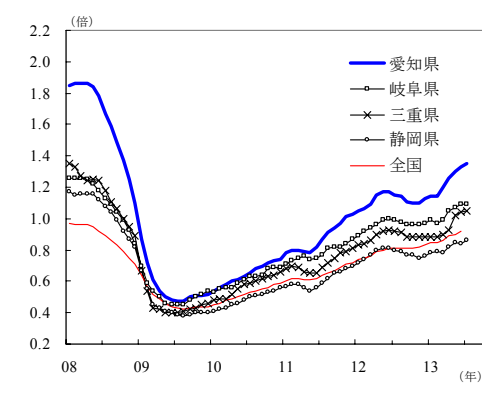
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 8月の輸出額(円ベース)は、+4.4%と3ヶ月ぶりに増加。



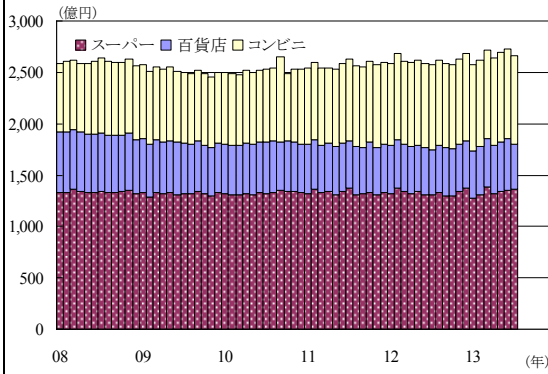
(注) 当室による季節調整値  
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 7月の愛知県の有効求人倍率は1.35倍と、2008年10月以来の水準にまで上昇。他県でも同様に上昇。



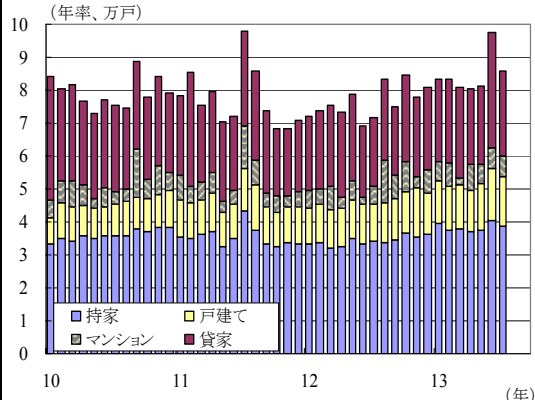
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行 経済調査室作成

**個人消費** 7月の小売主要3業態の販売は前月比▲1.1%と、3ヶ月ぶりに減少。



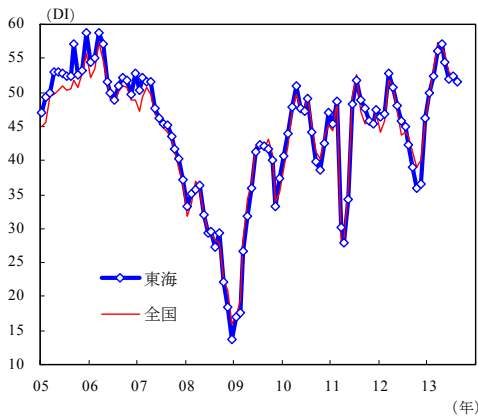
(注) 1. 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
2. 当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 7月の住宅着工戸数は、年率換算で約8.7万戸と反落するも、8万戸超のペースを維持し好調。



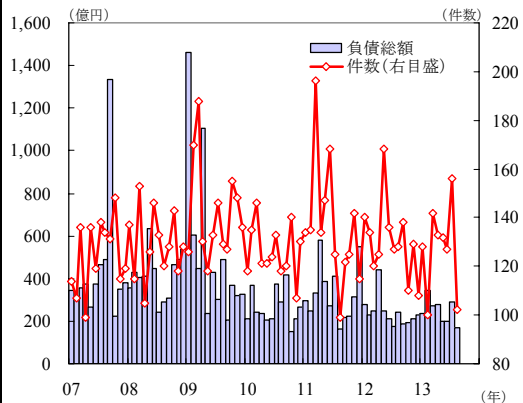
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 8月の景気現状判断DIは+51.5と、再び小反落。



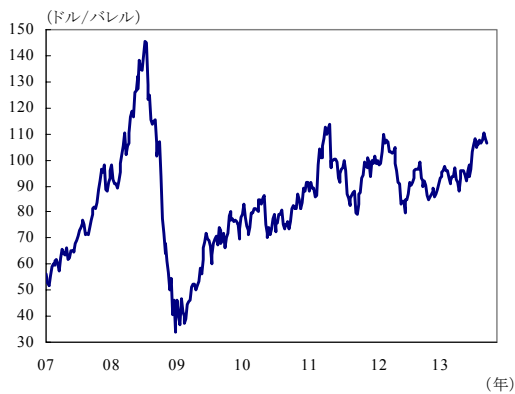
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 8月の企業倒産件数は102件と減少（前年比で▲20.3%）。負債総額も同▲29.4%と減少。



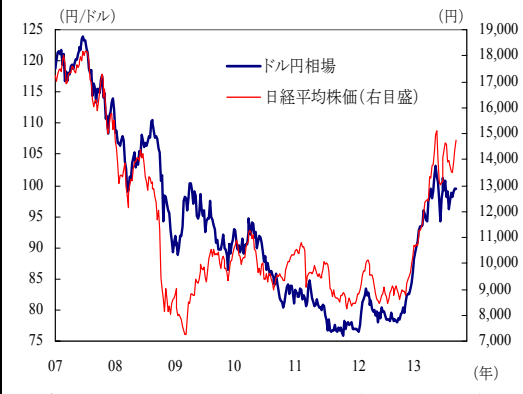
(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** シリアに対する空爆懸念で、一時110ドル台まで上昇。その後、シリア化学兵器問題が外交的に解決される可能性が出てきたことを受け、小反落。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 株価は、中国経済の持ち直しや米国量的緩和縮小の見送り等を受けて大幅反発。円相場は、株価上昇（円安材料）と米金利低下（円高材料）の狭間でもみあい。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H25.9.25 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。